

施策番号	17
------	----

施策評価シート（評価対象年度：令和2年度）

基本政策	4	生活基盤
施策名	17	自然環境
10年後のまちの姿	<p>○市民の多くが自然と共生し、自然の恩恵を受けて生活しています。</p> <p>○美しく豊かな山・川・海が多くの人をひきつけています。</p>	
施策展開の基本的な考え方	<p>行政は、まちの貴重な財産である豊かな自然を次世代に引き継ぐために、自然環境の保全と再生を進めるとともに、市民が自然と触れ合う機会や自然公園等の維持管理に参加する機会を提供します。また、市外の人からも胎内市の魅力を感じてもらえるようPRに努めます。</p> <p>市民等は、身近な自然の魅力や自然保護の重要性を認識し、自然との触れ合いや維持管理を行う機会には積極的に参加するよう努めます。</p>	
実現に向けた取組	<p>①豊かな自然環境の保全と再生</p> <p>②自然と共生するまちづくり</p> <p>③市民・事業者・行政の協働による環境保全</p>	
施策担当課・係	農林水産課 林業振興係	
施策関係課・係	地域整備課 管理係	

I 施策の実施状況

1 施策全体の事業費

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業費（千円）	68,723	66,043	59,752	58,344	
事務事業数	9	9	8	8	
うち、事務事業評価対象	9	9	8	8	

2 成果指標の達成状況

指標	単位	基準値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和3年度 中間目標	令和8年度 最終目標
森林病虫害被害本数	本	6,155	883	523	706	866		800	300
植栽および森林の保育活動面積〔累計〕	ha	16.24	18.70	19.02	21.31	21.80		19.2	20.0
成果指標による現状分析	<p>各事業とも順調に推移しており、病虫害被害本数については現在下げ止まり状態である。なお本数には多少の増減があるが、量（材積）は減少してきている。</p>								

3 施策の進捗状況

達成度	○ 概ね順調
評価の理由	ほぼ中間目標に達している。

#### 4 取組の状況と今後の方向性

##### ① 豊かな自然環境の保全と再生

施策の内容
<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係機関と連携して、自然公園区域や自然環境保全地域、保安林等の自然環境の適切な管理を推進し、貴重な動植物とその生息・生育環境の保全等を図ります。</li> <li>・白砂青松の景観の保全と再生に向けて、県や市民団体、企業と連携して防除活動や植林、下草刈り等、海岸部の適切な維持管理に取り組みます。</li> </ul>
これまでの主な取組と実績
<ul style="list-style-type: none"> <li>・健全な森林に導くため、県有林・分収造林などの間伐を実施</li> <li>・胎内平池などのビオトープの保全を実施</li> <li>・松くい虫被害の根絶を目指すため、松くい虫防除を継続して実施</li> <li>・防風林としての役割を再生させるため、市民団体、企業と連携して保安林内の植栽・保育作業を実施</li> </ul> <p>植栽実績：JX、H23～（中村浜・村松浜） 水澤化学・山栄建設H24～（中村浜・笹口浜） 日立・荒井浜H29～（荒井浜）      第四銀行H29～（荒井浜） 四季を愛する会H25～R2（笹口浜・中村浜） 中条葉たばこ青年部H24～29（中村浜・笹口浜）      トヨペットH21～30（胎内平） クラレH22～（胎内平） きのと桜H30～R5予定（乙）</p>
主な課題と今後の対応
<ul style="list-style-type: none"> <li>・森林の成長には膨大な時間がかかるので、引き続き適切な管理に努める。</li> <li>・松くい虫被害は減少傾向にあるものの、根絶したとは言えないため、引き続き松くい虫防除を実施するとともに関係団体と連携し、保安林内の植栽等も行う。</li> <li>・森林譲与税を用いて、効果的な森林保全をめざす。</li> </ul>

##### ② 自然と共生するまちづくり

施策の内容
<ul style="list-style-type: none"> <li>・国や県、その他の関係機関と連携して、自然公園区域や自然環境保全地域等に自然学習や観光にも資する散策路や観察小屋、ベンチ、トイレ等の環境整備に取り組みます。</li> <li>・自然体験施設や環境学習施設、周辺の公園の維持管理と魅力の向上を図ります。</li> <li>・河川整備の実施に併せて水辺のジョギングコースや憩いの親水空間等の自然と触れ合う場の設置を検討します。</li> <li>・関係機関と連携して山林や河川、海岸の適切な維持管理や保全施設等の整備を実施し、自然の荒廃を要因とする災害時の被害拡大を抑制します。</li> </ul>
これまでの主な取組と実績
<ul style="list-style-type: none"> <li>・青少年の森研修館運営</li> <li>・胎内平周辺の維持管理</li> <li>・荒井浜森林公園、長池憩いの森公園、生活環境保全林の維持管理</li> <li>・村松浜夕日の森公園、笹口浜臨海休養広場の維持管理</li> <li>・河川環境整備の一環として、県から堤防等の除草作業を受託</li> <li>・白砂青松海岸促進期成同盟会を通して、国・県に海岸浸食の防止対策を要望</li> <li>・災害時の被害拡大抑制のため、県に河川の維持管理を要望</li> <li>・河川除草委託料単価の見直しを行った。</li> </ul>
主な課題と今後の対応
<ul style="list-style-type: none"> <li>・限られた予算内で最大限の施設等の維持に努める。</li> <li>・各集落、組合の受託者が高齢化に伴い減少傾向となっている。しかし、要望は多く除草作業延長も伸びていることから、地域の河川環境整備保全のため、今後も継続して各集落等に協力要請を行っていく。</li> <li>・海岸の浸食が急速に進んでいる箇所も多く見受けられる。今後も、白砂青松海岸促進期成同盟会を通し、国・県に改善要望を行っていく。</li> <li>・毎年、県に掘削及び伐木等の要望を行っているが、進捗状況はあまり進んでいない。粘り強く要望を継続する。</li> <li>・長池公園整備のため、公園整備・草刈り・池整備等を実施する。</li> </ul>

③ 市民・事業者・行政の協働による環境保全

施策の内容	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民やボランティア団体、企業と連携した緑化や自然保護活動に取り組みます。</li> <li>・市民による公園の環境整備や魅力づくり、環境教育・環境学習での活用を積極的に支援します。</li> <li>・豊かな自然を題材にした環境教育・環境学習を通じて、環境問題に関する情報発信と意識の啓発を図ります。</li> </ul>	
これまでの主な取組と実績	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア団体による植栽活動を実施</li> <li>・企業による植栽及び保育活動を実施</li> <li>・集落などによる森林・山村多面的活動を実施</li> <li>・体験学習の場所の提供</li> <li>・胎内平を星まつり会場として使用</li> </ul>	
主な課題と今後の対応	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・植栽が進み植栽場所が減少する中で、関係機関と連携し最適な活動場所を提供する。</li> <li>・活動を終了する集落もあるが、市報などで新規の活動集落を募集する。</li> </ul>	

④ その他

施策の内容	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・森林整備の推進</li> <li>・自然の荒廃を要因とする災害時の被害拡大を抑制するため、山林や河川、海岸の適切な維持管理や保全施設等の整備</li> <li>・河川公園の整備</li> </ul>	
これまでの主な取組と実績	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・森林整備推進のため、森林経営計画の作成支援及び認定</li> <li>・新潟地区治山林道協会を通して、治山林道事業の推進と林業振興に関する要望書を提出</li> <li>・夏井河川公園の維持管理</li> </ul>	
主な課題と今後の対応	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・木材の価格低迷などで森林整備が進まないが、関係機関と連携し、継続して森林経営計画の作成支援を行う。</li> <li>・森林の持つ防災力の強化が求められている中で、継続し、治山林道事業の推進と林業振興に関する要望書を提出する。</li> <li>・公園設置から年数が経過し施設も老朽化している。毎年度、予算の範囲内で修繕しているが、追いついていない。該当の公園は河川公園であり、今後より一層、県と協力し維持管理に努める。</li> </ul>	

5 施策の今後の方針

施策方針	○ 維持
施策方針に関する説明	自然環境の保全のために、各事業を維持していく。

II 施策を構成する事業等

事業 コード	事務事業名	R2 事業費		R3 当初予算額		達成度	施策目標 に対する 貢献	今後の 方向性	主な事業	担当課
			うち 一般財源		うち 一般財源					
410110	森林保全管理事業	2,912	1,464	2,992	1,541	△	○	③		農林水産課
410111	森林病虫害等防除事業	17,529	8,403	20,830	9,943	○	○	③		農林水産課
410112	海岸松原再生事業	10,136	10,126	10,614	10,582	◎	○	③		農林水産課
410210	長池憩いの森公園管理事業	5,157	4,607	5,175	4,568	△	○	③		農林水産課
410212	青少年の森研修館運営事業	2,498	1,204	2,512	1,215	○	○	③		農林水産課
410213	笹口浜臨海休養広場管理運営事業	807	807	888	888	◎	△	③		農林水産課
410220	河川総務事業	17,642	5,140	16,509	4,007	○	○	③		地域整備課
410310	造林事業	2,543	2,543	3,100	2,900	◎	○	②		農林水産課

事務事業評価シート（評価対象年度：令和2年度事業）

事業コード	410110		担当課	農林水産課		担当係	林業振興係		担当者	
事務事業名	森林保全管理事業		事業年度	令和2年度			会計区分	一般会計		
基本政策	4	生活基盤	事業コード	大	41	自然環境	予算科目	款	06	農林水産業費
施策	17	自然環境		中	01	豊かな自然環境の保全と再生		項	02	林業費
				小	10	森林保全管理事業		目	01	林業総務費
事務区分	法定受託事務		自治事務		○	根拠法令				
	法令による義務付け		任意			関連条例			関連計画	

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	散策などのレクリエーション利用を通じて、市民の身近な遊び場、憩いの場となっている荒井浜森林公園、村松浜夕日の森公園の管理と環境美化に努める。
主な実施内容	・荒井浜森林公園及び村松浜夕日の森公園の維持管理
実施方法	委託

4 達成度

達成度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	○	○	○	△	
◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない					
評価の理由	利用者数(成果指標)が目標をやや下回ったため。				

5 改革の実施状況（平成29年度～）

維持管理のため荒井浜草刈組合に草刈りを委託しているが、それ以外に景観を悪くしている松くい虫被害による枯損木等の処理を臨時職員によって実施し、景観の維持・管理をしている。

2 事業費の状況（※平成29年度～令和2年度は決算額、令和3年度は当初予算額）

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
総事業費（千円）	2,877	3,797	2,879	2,912	2,992
国・県支出金	1,420	1,970	1,398	1,448	1,451
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	1,457	1,827	1,481	1,464	1,541
人件費（千円）	3,444	3,489	1,641	1,699	
正(h)	※事業費 900	900	300	300	
会計年度任用(h)	※事業費 2,140	2,140	1,260	1,260	
総事業費+人件費	6,321	7,286	4,520	4,611	
財源「その他」内訳	・委託費 1,812千円 ・賃借料 1,100千円				
事業費の主な支出内容					
単位コスト	算出方法（総事業費+人件費）/利用者数				
実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	2,107	7,277	1,507	2,306	

6 事業の課題

施設の老朽化が目立ってきたため、今後は維持費も必要になってくる。

3 指標値の状況

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
産出指標	名称	公園管理面積 ①荒井浜公園 ②村松浜公園	公園管理面積 ①荒井浜公園 ②村松浜公園	公園管理面積 ①荒井浜公園 ②村松浜公園	公園管理面積 ①荒井浜公園 ②村松浜公園	公園管理面積 ①荒井浜公園 ②村松浜公園
	目標	①22.4ha ②0.59ha	①22.4ha ②0.59ha	①22.4ha ②0.59ha	①22.4ha ②0.59ha	①22.4ha ②0.59ha
	実績	①22.4ha ②0.59ha	①22.4ha ②0.59ha	①22.4ha ②0.59ha	①22.4ha ②0.59ha	
成果指標	名称	利用者数	利用者数	利用者数	利用者数	利用者数
	目標	3,300人	3,300人	3,300人	3,300人	3,300人
	実績	3,000人	3,000人	3,000人	2,000人	
	目標比	90.9%	90.9%	90.9%	60.6%	

7 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	③	③	③	③	
・地域住民の協力もあり一定の効果は上がっている。 ・管理面積を縮小し、草刈り回数を増やすことで、通年を通して公園管理を行う。					

8 二次評価委員会所見

今後の方向性					
成果の方向性	拡充	×	④	②	①
	維持	×	⑤	③	×
	縮小	×	⑥	×	×
	休廃止	⑦	×	×	×
	削減	縮小	維持	拡大	
コスト投入の方向性					

事務事業評価シート（評価対象年度：令和2年度事業）

事業コード	410111		担当課	農林水産課	担当係	林業振興係	担当者			
事務事業名	森林病害虫等防除事業		事業年度	令和2年度		会計区分	一般会計			
基本政策	4	生活基盤	事業コード	大	41	自然環境	予算科目	款	06	農林水産業費
施策	17	自然環境		中	01	豊かな自然環境の保全と再生		項	02	林業費
				小	11	森林病害虫等防除事業		目	01	林業総務費
事務区分	法定受託事務		〇	根拠法令		森林病害虫等防除法				
	法令による義務付け			関連条例				関連計画	胎内市森林整備計画	

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	松くい虫被害の終息化を目指し、被害予防のための薬剤散布や被害木の伐倒駆除処理を実施するほか、市内での一体的な防除のため他団体等が実施するものに対しても補助金を交付している。
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>被害予防のための薬剤散布</li> <li>被害木の伐倒駆除・くん蒸</li> <li>被害木把握のための調査</li> <li>防除を実施する団体・個人への補助金交付</li> </ul>
実施方法	市が直接実施＋委託

4 達成度

達成度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	◎	◎	○	○	
評価の理由	被害本数は細い松が多く昨年より増加したが、材積は減少し薬剤散布はほぼ予定通りの面積ができたので概ね達成とした。				

◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない

5 改革の実施状況（平成29年度～）

（該当なし）

2 事業費の状況（※平成29年度～令和2年度は決算額、令和3年度は当初予算額）

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
総事業費（千円）	22,747	18,454	17,206	17,529	20,830	
国・県支出金	11,731	10,553	10,592	9,126	10,887	
地方債	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	
一般財源	11,016	7,901	6,614	8,403	9,943	
人件費（千円）	3,325	3,353	3,429	3,426		
正(h) ※事業費	1,770	1,770	1,770	1,770		
会計年度 ※事業費	80	80	80	80		
総事業費＋人件費	26,072	21,807	20,635	20,955		
財源「その他」内訳						
事業費の主な支出内容	防除事業委託料（補助）15,905千円、ゴルフ場補助金1,420千円 防除事業委託料（単独）773千円					
単位コスト	算出方法	防除面積1haあたりのコスト 防除委託料／面積				
	実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
		78,477円	76,757円	78,847円	79,552円	

6 事業の課題

激害以降、海岸線に植栽した松も大きくなってきており、今後松くい虫予防の薬剤散布が必要になるため、どのタイミングで散布するか検討する必要があり、事業費の増加が見込まれる。

3 指標値の状況

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
産出指標	名称	防除面積	防除面積	防除面積	防除面積	防除面積
	目標	165ha	165ha	140ha	140ha	140ha
	実績	140ha	140ha	140ha	138.8ha	
成果指標	名称	被害本数	被害本数	被害本数	被害本数	被害本数
	目標	1800本	800本	200本	200本	200本
	実績	883本	523本	706本	866本	
	目標比	-	-	-	-	

7 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	⑤	③	③	③	
松くい虫被害については、数年前の激害以降、徹底した防除により年々減少し、現在の被害量は激害前の水準に戻りつつある。国県の補助金を活用するため、その手法については一定の制限を受けはするものの、これまでと同様の手法で事業を実施することで、近年と同程度の減少率を見込めるものと考えている。					

8 二次評価委員会所見

今後の方向性				
成果の方向性	拡充	④	②	①
	維持	⑤	③	
	縮小	⑥		
	休廃止	⑦		
	削減	縮小	維持	拡大
コスト投入の方向性				

事務事業評価シート（評価対象年度：令和2年度事業）

事業コード	410112		担当課	農林水産課	担当係	林業振興係	担当者			
事務事業名	海岸松原再生事業		事業年度	令和2年度		会計区分	一般会計			
基本政策	4	生活基盤	事業コード	大	41	自然環境	予算科目	款	06	農林水産業費
施策	17	自然環境		中	01	豊かな自然環境の保全と再生		項	02	林業費
				小	12	海岸松原再生事業		目	01	林業総務費
事務区分	法定受託事務		自治事務		○	根拠法令				
	法令による義務付け		任意			関連条例	関連計画			

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	美しい海岸松原を再生するため、環境整備を進める。
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・海岸部における森林整備</li> <li>・松くい虫被害木調査</li> <li>・松くい虫被害木の処理</li> </ul>
実施方法	市が直接実施

4 達成度

達成度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	◎	◎	◎	◎	
評価の理由	◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない 調査面積、整備面積ともに目標達成できたので達成とした。				

5 改革の実施状況（平成29年度～）

（該当なし）

2 事業費の状況（※平成29年度～令和2年度は決算額、令和3年度は当初予算額）

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
総事業費（千円）	9,417	9,318	8,934	10,136	10,614
国・県支出金	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	10	10	32
一般財源	9,417	9,318	8,924	10,126	10,582
人件費（千円）	331	334	342	341	
正(h)	180	180	180	180	
※事業費 会計年度 任用(h) ○	5,200	3,830	5,700	5,700	
総事業費+人件費	9,748	9,652	9,276	10,477	
財源「その他」内訳	雇用保険料個人負担金				
事業費の主な支出内容	給料6,603千円、職員手当等1,542千円、共済費1,267千円				
単位コスト	算出方法				
	実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度

6 事業の課題

草刈面積や伐採作業が増加してきている。

3 指標値の状況

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
産出指標	名称	被害木調査面積	被害木調査面積	被害木調査面積	被害木調査面積	被害木調査面積
	目標	60ha	60ha	300ha	300ha	300ha
	実績	60ha	60ha	518ha	518ha	
成果指標	名称	海岸林整備面積	海岸林整備面積	海岸林整備面積	海岸林整備面積	海岸林整備面積
	目標	10ha	10ha	10ha	10ha	10ha
	実績	10ha	10ha	10ha	10ha	
	目標比	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	

7 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	③	③	③	③	
<p>損なわれた自然景観の復元を目指し、松林の整備は今後も継続する必要がある。成果が見えにくい事業ではあるが、現在の手法で地道に実施していくことがトータル的にコストを抑えて目的を達するための近道であると考えている。</p>					

8 二次評価委員会所見

今後の方向性					
成果の方向性	拡充	×	④	②	①
	維持	×	⑤	③	×
	縮小	×	⑥	×	×
	休廃止	⑦	×	×	×
	削減	縮小	維持	拡大	
コスト投入の方向性					

事務事業評価シート（評価対象年度：令和2年度事業）

事業コード	410210		担当課	農林水産課	担当係	林業振興係	担当者			
事務事業名	長池憩いの森公園管理事業		事業年度	令和2年度		会計区分	一般会計			
基本政策	4	生活基盤	事業コード	大	41	自然環境	予算科目	款	06	農林水産業費
施策	17	自然環境		中	02	自然と共生するまちづくり		項	01	農業費
				小	10	長池憩いの森公園管理事業		目	05	農業振興費
事務区分	法定受託事務		自治事務		○	根拠法令				
	法令による義務付け		任意			関連条例	胎内市長池憩いの森公園条例 胎内市長池農産物直売所条例	関連計画		

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	豊かな森林資源に囲まれた長池憩いの森公園の管理を行い、市民のレクリエーション活用ややすらぎの場として提供する。
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>長池憩いの森公園清掃等業務委託</li> <li>長池憩いの森公園維持管理</li> <li>公園用地借地</li> </ul>
実施方法	市が直接実施＋委託

4 達成度

達成度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	○	△	○	△	
◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない					
評価の理由	新型コロナウイルスの流行によって、チューリップフェスティバルが中止になり、施設への来場者も激減したため。				

5 改革の実施状況（平成29年度～）

令和元年度の土地賃貸借契約更新時に賃借料単価を見直したことにより令和2年度より賃借料の減額ができた。

2 事業費の状況（※平成29年度～令和2年度は決算額、令和3年度は当初予算額）

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
総事業費（千円）	7,334	5,760	5,397	5,157	5,175	
国・県支出金	0	0	0	0	0	
地方債	0	0	0	0	0	
その他	181	27	7	550	607	
一般財源	7,153	5,733	5,390	4,607	4,568	
人件費（千円）	1,375	1,314	1,377	1,199		
正(h) ※事業費	620	580	600	500		
会計年度 ※事業費任用(h)	280	280	280	280		
総事業費＋人件費	8,709	7,074	6,774	6,356		
財源「その他」内訳	建物共済費 550千円					
事業費の主な支出内容	公園周辺借地料 2,497千円、公園管理委託料 1,496千円 光熱水費 578千円、修繕費 550千円、その他36千円					
単位コスト	算出方法	総事業費＋人件費／利用者数				
	実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
		99円／人	105円／人	80円／人	211円／人	

3 指標値の状況

産出指標	名称	農産物直売所開館日数	農産物直売所開館日数	農産物直売所開館日数	農産物直売所開館日数	農産物直売所開館日数
	目標	317日	317日	317日	317日	317日
	実績	359日	359日	359日	330日	
成果指標	名称	年間公園利用者数	年間公園利用者数	年間公園利用者数	年間公園利用者数	年間公園利用者数
	目標	100,000人	100,000人	100,000人	80,000人	80,000人
	実績	87,821人	67,357人	84,673人	30,000人	
	目標比	87.8%	67.4%	84.7%	37.5%	

6 事業の課題

来園者増をめざし、長池を中心としたパーベキュー場等の整備を行う必要がある。

7 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	③	⑤	③	③	
4月下旬からのチューリップフェスティバルには、県内外の多くの方が来園し、人気となっている公園であり、公園の施設管理は、長池農産物直売所の誘客とPRに繋がるとともに、訪れる方々が快適に過ごしていただくため必要である。しかしながら、チューリップフェス以外の利用は限られており、直売所の営業のためにも、何らかの方策をとる必要がある。 また、令和2年度より公園の賃借料単価を見直したが、5年後にさらに賃借料の減額を実施する予定である。					

8 二次評価委員会所見

今後の方向性					
成果の方向性	拡充	×	④	②	①
	維持	×	⑤	③	×
	縮小	×	⑥	×	×
	休廃止	⑦	×	×	×
		削減	縮小	維持	拡大
コスト投入の方向性					

事務事業評価シート（評価対象年度：令和2年度事業）

事業コード	410212		担当課	農林水産課	担当係	林業振興係	担当者			
事務事業名	青少年の森研修館運営事業		事業年度	令和2年度		会計区分	一般会計			
基本政策	4	生活基盤	事業コード	大	41	自然環境	予算科目	款	06	農林水産業費
施策	17	自然環境		中	02	自然と共生するまちづくり		項	02	林業費
				小	12	青少年の森研修館運営事業		目	01	林業総務費
事務区分	法定受託事務		自治事務		○	根拠法令				
	法令による義務付け		任意			関連条例	関連計画			

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	次代を担う青少年が自然の中で野外活動に親しみ、心身の鍛錬と森林愛護思想の普及啓発として研修の場を提供する。
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・芝刈、草刈、間伐の実施</li> <li>・トイレ清掃</li> <li>・来場者の案内</li> </ul>
実施方法	市が直接実施

4 達成度

達成度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	○	○	◎	○	
◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない					
評価の理由	管理日数は目標を下回り、星まつり等の中止により周辺施設利用者は減ったが、目標は達成したため概ね達成とした。				

5 改革の実施状況（平成29年度～）

令和元年度より県有林管理事業と統合  
令和2年度より開館日を見直す

2 事業費の状況（※平成29年度～令和2年度は決算額、令和3年度は当初予算額）

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
総事業費（千円）	2,787	2,746	2,791	2,498	2,512	
国・県支出金	1,231	1,231	1,640	1,294	1,294	
地方債	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	3	
一般財源	1,556	1,515	1,151	1,204	1,215	
人件費（千円）	203	204	209	208		
正(h)	110	110	110	110		
※事業費 会計年度任用(h) ○	133	320	1,530	1,464		
総事業費+人件費	2,990	2,950	3,000	2,706		
財源「その他」内訳	給料1,285千円 需用費816千円、委託料144千円					
事業費の主な支出内容	給料1,285千円 需用費816千円、委託料144千円					
単位コスト	算出方法	利用者1人当たりコスト 総事業費+人件費/年間周辺施設利用者数				
	実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
		27円	26円	28円	30円	

6 事業の課題

施設の老朽化が著しく今後修繕が必要になってくる。

3 指標値の状況

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
産出指標	名称	研修館管理日数	研修館管理日数	研修館管理日数	研修館管理日数	研修館管理日数
	目標	157日	157日	157日	157日	157日
	実績	130日	141日	214日	133日	
成果指標	名称	年間利用者数	年間利用者数	年間利用者数	年間周辺施設利用者数	年間周辺施設利用者数
	目標	500人	500人	100,000人	50,000人	50,000人
	実績	600人	550人	109,000人	89,000人	
	目標比	120.0%	110.0%	109.0%	178.0%	

7 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	③	③	③	③	
県から委託を受け管理を行っている施設であり、今後施設をどのようにしていくのか県と協議していく必要がある。					

8 二次評価委員会所見

今後の方向性					
成果の方向性	拡充	×	④	②	①
	維持	×	⑤	③	×
	縮小	×	⑥	×	×
	休廃止	⑦	×	×	×
		削減	縮小	維持	拡大
コスト投入の方向性					

事務事業評価シート（評価対象年度：令和2年度事業）

事業コード	410213		担当課	農林水産課	担当係	農産振興係	担当者			
事務事業名	笹口浜臨海休養広場管理運営事業			事業年度	令和2年度		会計区分	一般会計		
基本政策	4	生活基盤	事業コード	大	41	自然環境	予算科目	款	06	農林水産業費
施策	17	自然環境		中	02	自然と共生するまちづくり		項	03	水産業費
				小	13	笹口浜臨海休養広場管理運営事業		目	01	水産業振興費
事務区分	法定受託事務		自治事務		○	根拠法令				
	法令による義務付け		任意			関連条例	関連計画			

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	笹口浜地内の沿岸に設置している臨海休養広場を管理し、白砂青松の観察や地元漁師、観光客等の休養の場として提供する。
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・トイレ清掃</li> <li>・広場の清掃、見回り</li> <li>・フェンス修繕</li> <li>・護岸修繕</li> </ul>
実施方法	市が直接実施+委託+補助・負担

4 達成度

達成度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	◎	◎	◎	◎	
評価の理由	◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない 目標数値を達成できている。				

5 改革の実施状況（平成29年度～）

[H29～R2] フェンス修繕を実施 [R1] トイレ浄化槽放流ポンプ交換 [R2] トイレ浄化槽ブロワ 高波で崩落した護岸補修
--

2 事業費の状況（※平成29年度～令和2年度は決算額、令和3年度は当初予算額）

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
総事業費（千円）	981	990	1,151	807	888	
国・県支出金	0	0	0	0	0	
地方債	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	
一般財源	981	990	1,151	807	888	
人件費（千円）	608	612	627	625		
正(h) ※事業費	330	330	330	330		
会計年度任用(h) ※事業費	0	0	0	0		
総事業費+人件費	1,589	1,602	1,778	1,432		
財源「その他」内訳	需用費 191千円 役務費 13千円 委託料 434千円 原材料費 19千円 負担金補助及び交付金 150千円					
単位コスト	算出方法	利用者1人あたり運営コスト (総事業費+人件費)/利用者数				
	実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
		1,605円	1,618円	1,795円	1,446円	

6 事業の課題

高波により護岸崩落が進んでおり、公園内まで被害が及ぶ可能性があるため、消波ブロックの上積みなどの対策が必要と思われる。
---

3 指標値の状況

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
産出指標	名称	清掃回数	清掃回数	清掃回数	清掃回数	清掃回数
	目標	84回	84回	84回	84回	84回
	実績	84回	86回	87回	88回	
成果指標	名称	年間利用者数	年間利用者数	年間利用者数	年間利用者数	年間利用者数
	目標	990人	990人	990人	990人	990人
	実績	990人	990人	990人	990人	
	目標比	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	

7 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	③	③	③	③	
トイレ及び広場の管理は、地元漁業者に委託を行っており、苦情もなく一定数の利用がある。 広場護岸部やフェンスについては、計画的に取替が必要。 当施設は保安林内施設であるため県と連携しつつ、安全面に考慮し引き続き維持管理を行っていく。					

8 二次評価委員会所見

--

今後の方向性					
成果の方向性	拡充	×	④	②	①
	維持	×	⑤	③	×
	縮小	×	⑥	×	×
	休廃止	⑦	×	×	×
		削減	縮小	維持	拡大
コスト投入の方向性					

事務事業評価シート（評価対象年度：令和2年度事業）

事業コード	410220		担当課	地域整備課		担当係	管理係		担当者	
事務事業名	河川総務事業		事業年度	令和2年度			会計区分	一般会計		
基本政策	4	生活基盤	事業コード	大	41	自然環境	予算科目	款	08	土木費
施策	17	自然環境		中	02	自然と共生するまちづくり		項	03	河川費
				小	20	河川総務事業		目	01	河川総務費
事務区分	法定受託事務		〇	根拠法令	河川法					
	法令による義務付け			関連条例				関連計画	荒川水系荒川圏域河川整備計画、胎内川水系河川整備計画、落堀川水系河川整備計画	

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	新潟県からの河川環境整備を受託し、堤防等の除草作業を行う。
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・堤防等の除草作業を実施する。</li> <li>・参加団体等は下記のとおり 自治会等 11団体 農家組合 10団体 業者 10業者 合計 31</li> <li>・河川延べ延長 50,940m</li> <li>・面積 357,150㎡</li> </ul>
実施方法	委託

4 達成度

達成度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	○	○	○	○	
◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない					
評価の理由	除草作業が年1回のため、雑草対策としては十分といえない。居住地域周辺は、虫などの発生を抑える必要があるため、複数回実施を望む意見がある。				

5 改革の実施状況（平成29年度～）

<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域からの要望による除草箇所を拡大。</li> <li>・県と協議を重ね委託単価の引き上げを要望している。</li> </ul>
--

2 事業費の状況（※平成29年度～令和2年度は決算額、令和3年度は当初予算額）

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
総事業費（千円）	17,703	19,116	19,229	16,767	16,509
国・県支出金	9,280	9,280	12,211	12,501	12,501
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	1	1	1
一般財源	8,423	9,836	7,017	4,265	4,007
人件費（千円）	136	137	141	140	
正(h) ※事業費	74	74	74	74	74
会計年度任用(h) ※事業費	0	0	0	0	0
総事業費+人件費	17,839	19,253	19,370	16,907	
財源「その他」内訳	野営場通信ケーブル使用料 1千円				
事業費の主な支出内容	消耗品費198 光熱水費909 委託料13,874 負担金補助及び交付金1,786				
単位コスト	算出方法				
	実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度

6 事業の課題

受託者の高齢化に伴い、地元での受託が困難となってきている地域がある。その代替えとして業者確保も課題となってきている。
--

7 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	③	③	③	③	
県も財政難ではあるが、害虫発生対策のために引き続き年2回の除草を県には要望していく。地域住民の協力が欠かせないため、地域への協力要請を積極的に行う。					

3 指標値の状況

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
産出指標	名称	受託面積	受託面積	受託面積	受託面積
	目標	350,350㎡	350,350㎡	357,150㎡	357,150㎡
	実績	350,350㎡	350,350㎡	357,150㎡	357,150㎡
成果指標	名称	除草作業面積	除草作業面積	受託実施率	受託実施率
	目標	350,350㎡	350,350㎡	357,150㎡	357,150㎡
	実績	350,350㎡	350,350㎡	357,150㎡	357,150㎡
	目標比	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

8 二次評価委員会所見

--	--	--	--	--

今後の方向性				
成果の方向性	拡充	④	②	①
	維持	⑤	③	
	縮小	⑥		
	休廃止	⑦		
		削減	縮小	維持
コスト投入の方向性				

事務事業評価シート（評価対象年度：令和2年度事業）

事業コード	410310		担当課	農林水産課	担当係	林業振興係	担当者			
事務事業名	造林事業		事業年度	令和2年度		会計区分	一般会計			
基本政策	4	生活基盤	事業コード	大	41	自然環境	予算科目	款	06	農林水産業費
施策	17	自然環境		中	03	市民・事業者・行政の協働による環境保全		項	02	林業費
				小	10	造林事業		目	02	林業振興費
事務区分	法定受託事務		自治事務		○	根拠法令				
	法令による義務付け		任意			関連条例	関連計画			

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	地球温暖化防止や森林の公益的機能の維持・増進を図っていくため、森林を造成し植栽、除間伐等森林整備を推進する。
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市林地の間伐</li> <li>・私有林の意向調査及び森林整備</li> <li>・間伐補助金の交付</li> </ul>
実施方法	委託+補助・負担

4 達成度

達成度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	◎	◎	◎	◎	
評価の理由	◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない 目標どおり事業を実施することができた				

5 改革の実施状況（平成29年度～）

森林経営管理制度に伴い、意向調査の実施及び森林の現況調査の実施。

2 事業費の状況（※平成29年度～令和2年度は決算額、令和3年度は当初予算額）

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
総事業費（千円）	4,144	4,097	1,984	2,543	3,100
国・県支出金	561	677	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0
その他	558	773	0	0	200
一般財源	3,025	2,647	1,984	2,543	2,900
人件費（千円）	1,491	1,503	1,538	1,535	
正(h) ※事業費	810	810	810	810	
会計年度 ※事業費任用(h)	0	0	0	0	
総事業費+人件費	5,635	5,600	3,522	4,078	
財源「その他」内訳	事業費の主な支出内容 民有林造林委託料 949千円 林況調査委託 694千円 造林事業補助金 1,000千円				
単位コスト	算出方法 間伐施業面積当たりの経費（総事業費+人件費/間伐施業面積） 実績				
	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	1,026,412	909,091	1,537,991	345,593	

6 事業の課題

森林経営管理制度に伴い、森林整備の方向性を検討しなければならない。

3 指標値の状況

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
産出指標	名称	間伐面積	間伐面積	間伐面積	間伐等委託面積	間伐等委託面積
	目標	4.0ha	4.0ha	1.0ha	1.0ha	1.0ha
	実績	4.0ha	5.12ha	0.8ha	1.5ha	
成果指標	名称	間伐・植栽等施業面積	間伐・植栽等施業面積	間伐・植栽等施業面積	間伐・植栽等施業面積	間伐・植栽等施業面積
	目標	4.5ha	4.5ha	2.0ha	16.0ha	16.0ha
	実績	5.49ha	6.16ha	2.29ha	11.8ha	
	目標比	122.0%	136.8%	114.5%	73.8%	

7 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	⑥	⑤	②	②	

平成31年4月1日から森林経営管理制度が施行され、手入れのされていない私有林の人工林の森林整備等の目的に毎年環境譲与税が交付されるため、事業自体は拡大していく方向で、財源については譲与税を充てていく。この事業は、豊かな森林資源の活用、林業の振興、本来森林の持つ公益的機能を再生させるためにも、今後も継続して森林整備していくことが必要。

8 二次評価委員会所見

今後の方向性				
成果の方向性	拡充	④	②	①
	維持	⑤	③	
	縮小	⑥		
	休廃止	⑦		
		削減	縮小	維持
コスト投入の方向性				